

食育だより

6月号
和田小学校

6月半ば、北陸地方も梅雨に入りました。そんな中、和田っ子は、「生きる力」をつけるため食育に取り組んでおり、元気に過ごしております。

お魚はかせになろう

3年生は、魚について学習しました。給食に出てくる魚や魚の加工品、実物の写真、魚のパワー、料理、「魚」の漢字の成り立ち、魚を漢字で書くと・・・などです。



授業後のアンケートでは、「魚は元から好き。」69%、「魚は、授業を聞いてから好きになった。」17%、「魚は嫌いだが、学校ではがまんして食べられる。」14%でした。

《感想》

児：今日は魚のことがよくわかりました。給食によく出る魚もわかりました。それに加工品のこともわかりました。家に帰ったら、このことを家族のみんなに教えてあげようと思いました。

保：学んだことや思ったことをいっしょけんめい説明してくれました。いろんな魚の名前をあげて楽しそうでした。さらに魚が好きになったようです。(3の3)

児：ぼくはちょっと魚ぎらいだけど、魚パワーを教えてもらって「魚を食べよう」と思いました。
保：息子は魚があまり好きではなく、「栄養があるんだよ」と言ってもなかなか好きにはなりません。でも、今回魚にはたくさんのパワーがあることを知り、自分から「魚を食べる！」と言いました。少しでも食べてくれるよう、料理を工夫して食べさせたいと思います。(3の2)

児：秋刀魚、鯖という漢字は初めて知りました。パワーも初めて知りました。もっと魚を食べて元気になりたいです。
保：骨があるので嫌ってか魚よりも肉の方を好んで食べていたのが、早速、帰宅後「じゃあ夕食は魚にしようか？」とたずねたところ「食べる!!」と即答で、喜んで魚を食べました。授業の効果が大きくて驚きました。(3の1)

「さつまいも」なえ植え

2年生は、学校給食畑の事業で、白方のファミリー農園でさつまいもの苗を植えました。秋の収穫が楽しみです。苗を植える前に、農業支援員の北野さんから苗の植え方等さつまいもについて説明を聞きました。



《感想》

・きょうわたしたちは、さつまいものなえをうえました。一人3本うえました。ななめにうえました。マルチにあなをあけました。むずかしかったけれど、おかあさんたちにてつだってもらったからうまくできました。とてもたのしかったので、また、いきたいです。(2の1)
・(前略)なえをうえるときつちをほいたら、ふかふかでおふとんみたいで気持ちがよかったです。なえは、きれいにうえられてうれしかったです。はじめてさつまいものなえをうえたかったのしかったです。さつまいもが大きくなってほしいです。(2の3)

「いか」出前授業

3年生は、県の水産課職員による「いか」の出前授業を受けました。最初に、いかの足は実は腕で、何本？から始まり、えさの取り方、泳ぎ方、捕れる場所、県内で捕れる魚介の順番(いかは3位)、「烏賊」という漢字の意味、「イカサマ」の意味など説明を聞きました。



《感想》

・わたしはいかがとても大きかったです。でも、食べられるようになって、300種類ものいかを食べてみたいです。大人の人も食べているので、がんばって食べたいです。給食のいかは、いつものよりおいしかったです。(3の2)
・いろいろないかのしゅるいや分かったことがあって、いかはすごいなあと思いました。また家でもいかの料理をしてみたいと思いました。(3の3)
・いかの体をさわったけど、ツルツルでした。わたしはいかをさわったことがないから、すごうれしかったです。わたしは今、いかが好きだけど、もっともっと好きになりました。(3の1)